



開校95周年記念集会に向けて

副校長

今年度、本校は開校95周年を迎えました。開校記念日は6月1日でしたが、臨時休校期間明けだったため、お祝いなどの準備ができず、関連行事を延期としました。その後も、全員が一堂に会することができる機会を待ちましたが、見通しは立っていません。それでも、子供たちが母校の歴史をよく知り、愛校心を育むことは大切なことです。そこで、ご来賓にお越しいただくような式典は催せませんが、感染症対策を講じた上で、子供たちとお祝いをすることにしました。主な内容は次のとおりです。

<記念集会>

20日(土)3校時に体育館で次のプログラムを行います。体育館と教室をオンラインでつなぎ、実施します。

1. はじめの言葉
2. 校長先生のお話
3. 装飾の紹介(全校で体育館を装飾)
4. 戸三小の歴史紹介(代表委員会)
5. 戸三小歴史クイズ(集会委員会)
6. 記念品贈呈(PTAよりなわ跳び、同窓会より校帽)
7. 校歌斉唱(伴奏のみ)
8. おわりの言葉

当日の様子は
本校ホームページに
後日掲載します。

<委員会活動>

代表	記念集会の計画・実施、記念集会で学校の歴史紹介
運動	なわ跳び検定カードや技の紹介
図書	95年前の本の紹介、図書室黒板の装飾
放送	昼の放送における、開校～現在の年代別ヒット曲イントロ
保健給食	開校当時の給食をポスターで紹介
集会	戸三小歴史クイズ

<その他>

- 記念リーフレット及び記念クリアファイルの作成。全校児童に配付。
- 航空写真及び集合写真の撮影。航空写真では、子供たちから募集した案をもとに人文字を表現(1月13日撮影済み)。
- 地域学習室に本校の歴史に関するものを展示。
- 全校児童が制作した「ハッピーフラワー」を中心に、図工作品の展示・装飾。

オリンピック特別授業

本校は今年度、都教育委員会より「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」として表彰されています。そこで、5日には柔道女子57kg級でロンドン五輪で金メダル・リオ五輪で銅メダルに輝いた松本薫さん、24日にはリオ五輪ソフトボール代表とチームで銅メダルに輝いた三井梨紗子さんをお招きして、松本さんには5・6年生、三井さんには3・4年生を対象にお話ししていただきます。どのようなお話が伺えるのか楽しみです。

2月の主な行事予定

1	月	道徳週間始 クラブ活動	
2	火	放課後学習教室	
3	水	5時間授業	
4	木		
5	金	オリンピック特別授業①5・6年	
6	土	土曜授業日 道徳週間終	
7	日		
8	月	避難訓練 起震車訓練5年委員会活動	
9	火	放課後学習教室	
10	水	安全指導 第2回戸三小漢字検定新1年保護者会	
11	木	建国記念の日	
12	金	持久走旬間終	
13	土		
14	日		
15	月	読書週間始 クラブ活動	
16	火	移動教室代替行事6年放課後学習教室	
17	水	社会科見学3年	
18	木	プラネタリウム学習4年	
19	金	保護者会6年	
20	土	土曜授業日 読書週間終開校95周年記念集会(オンライン)	
21	日		
22	月	開校95周年記念PTAお楽しみ集会(オンライン)	
23	火	天皇誕生日	
24	水	オリンピック特別授業②3・4年保護者会2・4年	
25	木	6年生を送る会	
26	金	保護者会3年	
27	土		
28	日		

※予定は変更になることがあります。

※2月も引き続き特別時程とします。

※3月の土曜授業日は6日です。

※修了式は3月24日、卒業式は3月25日です。

卒業式に出席するのは6年生のみです。

校内長なわ大会

5年担任

2学期の第1回校内長なわ大会では、昨年に引き続き校内2位という結果で、銀メダルの受賞となりました。長なわ跳びの得意・不得意には個人差があります。それでも昨年からコツコツと練習を続け、クラス全体として上手に跳べるようになってきたという実感を、子供たちももっています。「長なわが得意な5年生」という自負をもち、クラス紹介動画にも長なわのシーンを入れました。昨年の2位という結果に、半分嬉しさ、半分悔しさを抱いていた子供たちは、「今年こそ」という思いで大会に臨み、当日に学級のベスト記録が出たときには、大きな歓声が上がりました。

それでも再び全校で2位だったということに対し、子供たちは悔しさをにじませていました。でも、上には上がいるのだと知ることは大切な経験です。他学年の頑張りもきちんと認め、悔しさという刺激をエネルギーにして、頑張っていく姿勢につなげてほしいと思います。

寒さが厳しい3学期、感染症予防のため、体育の種目には制限もありますが、持久走で体を温め、得意な運動にも苦手な運動にも、全力で取り組んでほしいと思っています。そして、3月の第2回校内長なわ大会では、今度こそ金メダルを目指して頑張ります。

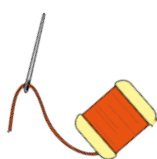
ちがっていてもいいんだよ

学習指導支援員

今年度、待ちに待った授業再開は6月1日からの分散登校という異例の始まりでした。どのような形であれ子供たちの元気な姿を見てほっと安心しました。

今年度は1年生の国語、6年生の理科、5、6年生の家庭科のT2を担当しています。低学年と中学年の放課後学習教室も9月から始まりました。授業中に不安そうな顔でいる子や、小さな声で「分かんないよ先生」と伝えてくれる子供の所に行って支援しています。問題が解決すると顔がぱあっと明るくなる様子が見えて嬉しくなります。子供は分かりたい、知りたいと思っていることがよく分かります。5年生の家庭科では初めは緊張していましたが、手縫いからミシンへと学習が進んでいくうちに、作品が少しずつでき上がる過程を楽しめるようになってきました。玉結びと玉留めは苦手な子が多く、ヘルプの声があちこちからかかります。一人一人と関われることは何よりの楽しみです。

子供たちを見ていると様々な才能の芽を垣間見ることがあります。一人一人の個性を大切に指導に当たっていくように心がけていきたいと思っています。



よりよく生きるために

道徳担当

本校では、学期に1回ずつ「道徳週間」を実施しています。毎週の道徳の授業だけでなく、ふだんの生活の中で、子供たちが自分のめあてを決めて、意識しながら生活をします。3学期の道徳週間は、2月15日（月）から19日（金）までです。そこでは、重点目標である「礼儀・思いやり、感謝」を基本とした5つのめあてから自分で1つを選びます。

【3学期の重点のめあて】

- ①相手の立場になって親切にしよう。
- ②礼儀正しい生活をしよう。
- ③お年寄りの方を大切にしよう。
- ④友達やまわりの人に親切にしよう。
- ⑤地域の文化や生活に親しもう。



一人一人が取り組むめあてを決めて、生活をしていく中で、道徳的価値の理解を深め、そのよさを実感していきます。学校での道徳教育はもちろんですが、子供たちにとって道徳を学ぶ機会は、友達、家族、地域・社会などで学ぶことも多いです。学校での授業を始め、様々な場面や人々によって、児童の「心」が大きく健やかに成長し、いずれ自分らしく、よりよく生きることにつながっていくよう指導していきます。

まなびの教室より

特別支援教室専門員

子供たちは誰にも得意なところと苦手ところがあります。この得意・不得意に著しい差があって、その子供に合った学び方が必要な場合、「まなびの教室」において、巡回指導教員（戸塚第二小学校）より適切な指導が受けられます。

授業は毎週金曜日に行われ、学年別に2時間の学習をしています。基本的に、前半の1時間は個々のニーズに応じて、「スピーチ」「ソーシャル・スキル・トレーニング」「聴き取りワーク」「図形の模写」などの個別指導を受けます。後半の1時間はグループ活動となり、意思表示能力や意見の認め合いを高めるコミュニケーション活動と、基礎的な運動能力の向上と運動経験の拡大を図る活動をしています。

「まなびの教室」を利用している子供たちは、それぞれ、自分のありのままを受け入れられ、同じ目線で共に考えていく関係性に安心感を抱き、意欲的に学習に取り組んでいます。

特別支援教室専門員としても、こうした活動がより円滑に行え、実りのあるものとなるよう、本校教員及び巡回指導教員と連絡調整を密にとっていきます。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、お子様のことで不安などがありましたら、学校にご連絡ください。
※家庭での毎朝の検温や健康観察を行い、お子様が発熱や体調不良の場合や、同居する親族に風邪症状が見られた場合は、PCR検査を受ける前であってもお子様の登校をお控えください。